



®環境省

エコアクション21
認証番号 0013348



2021 環境経営レポート

対象期間 2021年4月1日～2022年3月31日

発行日 2022年6月24日



ATC

ASIA AND PACIFIC TRADE CENTER

アジア太平洋トレードセンター株式会社

人・モノ・情報が集う 出会いの場



ごあいさつ

当社は、大阪ベイエリアの咲洲（さきしま）地区で、大型複合施設「ATC」を運営しております。

延べ床面積 33 万㎡に及ぶ建物には、オフィスやショールーム、レストラン、物販店舗にご入居いただき、「ATC ホール」では展示会、イベントなどを誘致・開催し、多数のお客様にお越しいただいております。

また、介護福祉、環境ビジネス、輸入住宅建材等の常設展示場やデザイナー・クリエイターの創業支援施設を大阪市とともに運営し、当館を利用した IoT、RT（ロボットテクノロジー）を活用した実証事業などの取組を通じて、社会課題の解決や地域活性化にも積極的に取り組んでおります。

2025年には隣接する夢洲（ゆめしま）において SDGs の達成を目指して大阪・関西万博が開催されますが、当社も「エコアクション 21」の取得、運用を通じて、環境経営を推進し SDGs の達成に貢献するとともに、近隣の施設・企業・団体や地域住民の皆様とともに、大阪ベイエリアの発展に寄与して参ります。

環境経営方針

環境経営理念

大阪ベイエリア咲洲地区で大型複合施設「ATC」を運営する当社は、不動産賃貸及び管理、催事・展示会の企画及び開催、各種の公共施設の運営を通じて、国連が定めた持続可能な開発目標（SDGs）を踏まえた地球温暖化問題への取り組みを積極的に推進し、持続可能な地域の発展に寄与するため、従業員一丸となって継続的に改善活動に取り組んでまいります。

環境保全への行動指針

ATC 行動基準（※）に則り、環境保全と規律維持に努めます。



事業活動を通じて、以下に継続的に取り組み、地球温暖化の緩和と持続可能な社会の構築に貢献します。

1. 二酸化炭素排出削減
2. 廃棄物排出削減
3. 水使用量削減
4. グリーン調達・グリーン購入の推進



企業、団体、自治体等と協働で環境や社会問題解決に率先して取り組み、産業を振興することでベイエリアを中心とした地域活性化につなげます。



来館者、取引先、株主、従業員などステークホルダーのみなさまと積極的にコミュニケーションをはかり社会の要請に応じた企業価値の向上に努めます。



目次

環境経営方針	主な事業内容 & TOPICS	環境経営組織・実績&取組結果とその評価	環境・社会活動				
ごあいさつ	2	常設展示場・	4	組織の概要	10	環境経営事務局	16
環境経営方針	3	インキュベーション施設	4	環境経営組織図及び役割・責任・権限表	10	CO ₂ 分科会	17
ATC行動基準	3	レストラン・ショップ	4	認証・登録の対象組織・活動	10	廃棄物分科会	18
		ウミエール広場	4	主な環境負荷の実績	11	SDGs 分科会	20
		オフィス・ショールーム	5	環境経営目標及びその実績	11	SDGs 取り組み一覧	26
		イベントホール	5	環境経営計画の取組結果とその評価	12	代表者による全体の評価と見直し・指示	27
		大阪・関西万博に向けて	6	緊急事態対応の試行・訓練	15	編集後記	27
		シーサイドテラス	8	環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無	15		
				SDGs 社員研修	15		

ATC 行動基準（※）

- 1 法令等の遵守
ATC は、法令の遵守はもとより、あらゆる場面で人権を尊重し、社会的良識をもって行動します。
- 2 社会的に有用なサービスの提供
ATC は多様化する消費者等のニーズに応えるとともに、安全かつ有用なサービスの提供に努めます。
- 3 長期的視野にたった経営
ATC は、短期的な収益のみにとらわれず、常に長期的な視野に立った経営を行います。
- 4 公正な取引
ATC は、公正かつ自由な競争の確保が市場経済の基本ルールとの認識のもとに商活動を行い、また、政治・行政との健全かつ正常で透明な関係を維持します。
- 5 企業情報の開示
ATC は、株主はもとより、広く社会とのコミュニケーションをはかり、積極的に企業情報を正確かつ公正に、適時開示します。
- 6 環境保全への配慮
ATC は、環境問題への配慮を常に忘れず、自主的、積極的に取り組みます。
- 7 社会貢献
ATC は、企業の利益と社会の動きを調和させ、『よき企業市民』としての役割を積極的に果たします。
- 8 働きやすい職場環境の実現
ATC は、従業員のゆとりと豊かさを実現し、働きやすい環境を確保するとともに、従業員の人格・個性を最大限に尊重し、自由闊達で創造性の発揮できる企業風土を実現します。
- 9 反社会的勢力及び団体との対決
ATC は、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力及び団体には断じて屈しません。

主な事業内容

大型複合施設 ATC の運営・管理及び施設でのイベントや展示会の企画等を主な業務としています。オフィスやショールーム、イベントホールから、レストラン、ショップ、大規模展示場まで多彩に展開。大阪・咲洲地区の中核施設として、さまざまな方にご利用いただいています。



Showroom and Incubation

常設展示場・インキュベート施設 大阪市との連携事業

入居・出展企業
約350社

日本最大級の環境ビジネス常設展示場
おおさかATCグリーンエコプラザ
<https://www.ecoplaza.gr.jp>

豊かな高齢社会をめざす
介護と福祉の展示場
ATCエイジレスセンター
<https://www.ageless.gr.jp>

プロジェクト創出×人材育成拠点
iRoobo オープン
テクノロジーセンター
<https://iroobo.jp>

先端技術を活用したビジネスの
サポート拠点
ソフト産業プラザ TEQS
<https://teqs.jp>

クリエイター独立・創業支援施設
大阪デザイン振興プラザ
<https://www.osaka-design.co.jp>



ビジネス創出

世界の住宅建材・部材・設備の
総合展示場
IHPC
<https://www.atc-ihpc.com>

<https://www.atc-co.com/restaurant>
レストラン・ショップ

2022年4月オープンのシーサイドテラス(フードテラス)や、カフェ、居酒屋、ファストフード、レストランのほか、雑貨や靴、服飾関連の店舗も充実。



Umier square

ウミエール広場

全長450mの海と空に開けたリラクゼーション。屋外イベントにも対応しています。



ベイサイドに広がるウミエール広場 海をバックにした海辺のステージ



【PORT】入居企業専用の多目的型共有ラウンジ。イベント、商談、研修などにお使いいただいています。



<https://www.atc-estate.com>

オフィス・ショールーム



5坪程度のスモールオフィスから、ワンフロア1500坪の広さまで、様々なニーズにお応えできます。充実の付帯設備も魅力。

- 郵便局、銀行ATM、コンビニ、館内物流サービス等のテナントサポート
- 大型トラックヤード・荷捌場・大型エレベーター・倉庫・屋内駐車場を完備
- 関西物流網・交通網の一大拠点、大阪南港ベイエリアという立地
- 警備・設備ともに24時間スタッフが常駐



入居企業
100社
以上



港が望める開放感のあるオフィスや、ショールームのように使えるガラス張りのスペースもあります。



SOHO用のスモールオフィス



<https://atchall.com>

イベントホール



ATC ホール・コンベンションルーム・会議室

ワンフロアで総面積約7,000㎡の多目的ホール、大小あわせて5つのホール、運動可能な12の会議室によりさまざまなイベントニーズにお応えいたします。

ATC ホール
7,000㎡



- Aホール(2,900㎡) (分割時1,600㎡、1,300㎡)
- Bホール(1,130㎡)
- Cホール(ATC ミュージアム) (1,000㎡)
- Dホール(270㎡)
- Eホール(250㎡)



Aホール



Bホール

ALL-ATC

大阪・関西万博を持続可能な未来への成長ドライバーに

大阪・関西万博が開催される夢洲に隣接する咲洲エリアの地域性を最大限に活かし、2022年度～2024年度の中期経営計画をもとに、ALL ATCで取り組んでいきます。

中期経営計画 2022年度～2024年度

重点課題

1

不動産賃貸事業者としての競争力強化

夢洲の開発進展に伴う需要の獲得
顧客ニーズに対応した空間・サービスの提供
複合施設としての強みの発揮

重点課題

2

安心安全で快適な空間づくり

災害対応力の強化
施設の経年対応
快適な空間づくり

重点課題

3

多様な集客機能の構築と強化

基礎的来館者数の増加
イベントによる来館者数の増加
広域からの来館者数の増加
公共展示場の活性化による来館者数の増加

重点課題

4

未来社会に向けた持続可能な経営

環境経営の推進（環境負荷の軽減）
地域活動の推進
公共展示場の活性化等による産業の振興
会社組織の活性化

大阪咲洲エリア

夢洲にいちばん近い ATC



※大阪・関西万博は 2025 年夢洲で開催されます



大阪・関西 万博

2025年大阪・関西

SDGs達成への貢献

万博がめざすもの

Society5.0の実現

ATCの強み

1

万博に一番近いオフィスビル

万博推進局を ATC に設置

大阪府・大阪市は、共同設置部署として「万博推進局」を ATC に設置しました。大阪・関西万博に向けた機運醸成やパビリオン出展準備など、開催に向けた準備拠点となります。



万博のバックオフィスとして入居増加

ATC の地の利の良さから、大阪・関西万博にむけて関連施設の建設工事等で入居が増えてきています。今後も、万博のバックオフィスとして関連の企業、団体、組織の入居が検討されています。

入居を検討されている
職種・団体

- 万博の工事事務所
- パビリオン出展企業
- 在外公館
- イベント関連企業



万博をビジネスに結びつける総合力

複合施設の特長を生かした ビジネスサポート体制

ATCは、オフィスやイベントホールだけでなく、ショールーム、常設展示場、屋外広場など、さまざまな機能と用途をもつ複合施設です。これらのリソースを活用して、事業者の方々のビジネスをサポートしています。

先端テクノロジーと SDGsビジネスの集積拠点

ATCには、社会課題の解決や先端技術関連の施設および企業が集積しています。2017年からは大阪市と協定を結び、IoT・ロボットなど先端技術の実証実験の場として、ご活用いただいています。

ATCの強み

2

複合施設ならではの
ビジネスマッチングや
機会創出

出展・入居企業
約450社との連携

プロジェクトの
創出とPR



- 01 先端技術・実証実験
- 02 クリエイティブ・デザイン
- 03 環境ビジネス
- 04 介護ビジネス
- 05 輸入住宅関連ビジネス

2022年
4月21日
OPEN!

海見えるフードテラス

Seaside Terrace



美味しいだけでなく
人にも環境にもやさしい
誰もが集えるスペース



Seaside Terrace

遮る 13
遮蔽コーティング



きれいな夕陽の見える海側の吹き抜け窓には(株)ZEROの窓ガラス用遮蔽コーティング「ZERO COAT」を塗布しています。効果として窓ガラス付近の温度上昇を5~10℃抑制し、冷房機器の電力使用量を約20%削減することが期待できます。

※(株)ZEROは、おおさか ATC グリーンエコプラザ出展企業

捨てない 15
国産材を有効活用



「goo-note」では、虫喰い材を有効活用する和歌山県田辺市の「あかね材」を使用した、オーナーこだわりのオーダー家具が設置されています。ATC 輸入住宅促進センター内にある木材の地産地消を促進する「WOOD MEETS」がご縁を繋ぐきっかけに。

誰でも 10
ユニバーサルデザイン



入口は幅が広く傾斜が緩やかなスロープで出入りがしやすい。店内も明るく広々としているので、ベビーカーでも車いすでもストレスなく快適に利用できます。

総務部
才田 沙也香

集う 8
ストリートピアノ



有名ピアニストから、企業の軽音サークル、通りがかりのピアノ好きの方まで、いろんな方にお使いいただけるグランドピアノを設置しました。好みの曲が聞こえたら立ち寄ってみてください。(土日のみ)

味に定評のある
5つの
レストラン・カフェ



夕陽の絶景ポイント
淡路島や神戸六甲山に沈む夕陽がとても美しいと好評です。

何度でも 12
プラスチックコップ



ウォーターサーバーのコップはプラスチック製を採用。きちんと洗って何度も使用しています。

分ける 12
分別回収



分別型ごみ回収ボックスを設置。再資源化できるものはリサイクルに回すように努めています。

憩い 13
LED 光色切替



白色と暖色のLED 照明を自動で切り替えて、居心地のよい空間を演出。電力使用量の削減にも努めています。

組織の概要

名称及び代表者名
アジア太平洋トレードセンター株式会社
代表取締役社長 木村 繁

所在地
本社 大阪府大阪市住之江区南港北
2丁目1番10号

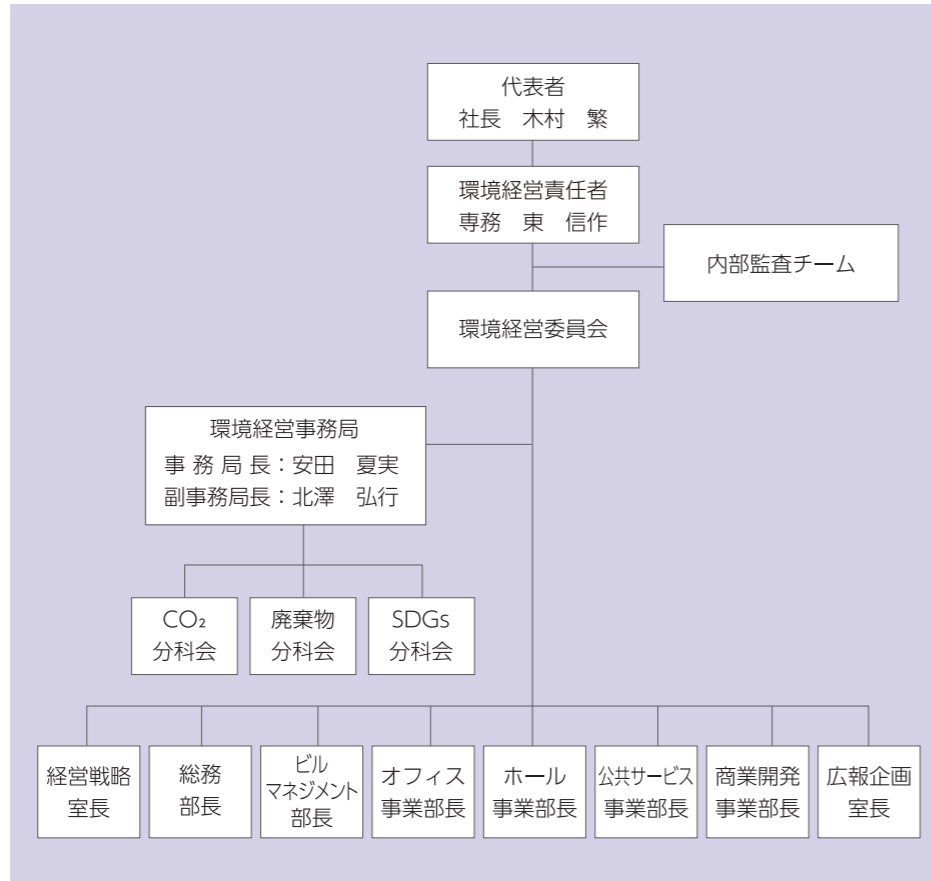
環境経営責任者及び担当者
責任者 専務取締役 東 信作
担当者 安田 夏実
連絡先 06-6615-5000

事業内容
不動産の賃貸及び管理、各種催物、
展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

事業の規模
売上高 58.5 億円 (2021 年度)
従業員 55 名
延べ床面積 336,000 m²

事業年度
4月1日～3月31日

環境経営組織図及び役割・責任・権限表



認証・登録の 対象組織・活動

登録組織名
アジア太平洋トレードセンター株式会社

対象事業所
ATCビル

対象外
なし

活動
不動産の賃貸及び管理、各種催物、
展示会の企画及び開催、駐車場運営 他

	役割・権限・責任
代表者(社長)	環境経営に関する統括責任 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間等経営資源を準備 環境経営責任者を任命 環境経営方針の策定・見直し 環境経営目標・環境経営計画書を承認 代表者による全体の評価と見直し、指示 環境経営レポートの承認
環境経営責任者(専務)	環境経営システムの構築、実施、管理 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 環境経営目標・環境経営計画書を承認 環境活動の取組結果を代表者へ報告 環境経営レポートの確認
内部監査チーム	環境に関する内部監査の計画 環境に関する内部監査の実施・報告
環境経営委員会	環境経営方針・計画の審議 自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 自部門に必要な手順書の作成及び手順書による実施 自部門の想定される事故及び緊急事態への対応のための手順書作成 試行・訓練を実施、記録の作成 自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
環境経営事務局 事務局長：総務部長 副事務局長： 公共サービス事業部長	環境経営責任者の補佐、環境委員会の事務局 環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 環境活動の実績集計 環境関連法規など取りまとめ表の作成及び最新版管理 環境関連法規等取りまとめ表に基づく評価の実施 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備え付けと地域事務局への送付）
全従業員	環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 決められたことを守り、自主的積極的に環境活動へ参加

主な環境負荷の実績

項目	単位	2019年	2020年	2021年	
二酸化炭素総排出量	kg-CO ₂	9,212,811	8,413,937	8,530,726	
廃棄物排出量	一般廃棄物排出量	Kg	702,420	539,760	558,140
	産業廃棄物排出量	Kg	338,246	189,756	242,400
水使用量	m ³	103,933	75,334	78,459	

※二酸化炭素排出係数 0.318kg-CO₂/kWh(関西電力の2019年度調整後の係数) ※地域冷暖房のCO₂排出係数 0.057t-CO₂/GJ

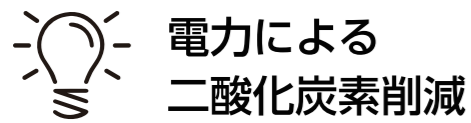
環境経営目標及びその実績

項目	年度 目標比	基準値 (基準年)	2021年		目標比	達成 状況	2022年 (目標)	
			(目標)	(実績)				
電力による 二酸化炭素削減	ATCホール 除く全館 99% [○]	kg-CO ₂	5,809,867	5,513,563	5,441,237	99%	○	5,455,465
		基準年度比	2019年	94.9%	93.7%	—	○	93.9%
	売上高原単位	kWh/千円	3.09	2.93	2.92	—	○	2.898
		稼働率原単位	kWh/日	1,636.33	1,397.42	1,598.13	—	×
熱供給による 二酸化炭素削減	ATCホール 除く全館 101% [×]	kg-CO ₂	3,171,543	2,901,962	2,932,046	101%	×	2,870,246
		基準年度比	2019年	91.5%	92.4%	—	×	90.5%
	売上高原単位	GJ/千円	0.0094	0.0086	0.0112	—	×	0.0085
		稼働率原単位	GJ/日	0.00029	0.00027	0.00026	—	○
一般廃棄物の 削減	全館 102% [×]	kg	702,420	545,780	558,140	102%	×	538,756
		基準年度比	2019年	77.7%	79.5%	—	×	76.7%
産業廃棄物の 削減	ATCホール 除く全館 139% [×]	kg	305,126	171,481	238,640	139%	×	168,430
		基準年度比	2019年	56.2%	78.2%	—	×	55.2%
リサイクルの推進 (2021年度から追加) NEW GOAL 89% [×]	ATCホール 14% [○]	リサイクル率	37.4%	44.0%	39.0%	89%	×	45.0%
		基準年度比	2019年	117.7%	104.3%	—	×	120.3%
コピー用紙の削減	ATCホール 92% [○]	枚	644,015	510,704	468,127	92%	○	509,416
		基準年度比	2019年	79.3%	72.7%	—	○	79.1%
水道水の削減	ATCホール 81% [○]	m ³	103,933	97,073	78,459	81%	○	96,034
		基準年度比	2019年	93.4%	75.5%	—	○	92.4%
グリーン調達・ グリーン購入の推進	ATCホール 109% [○]	グリーン購入比率	12.9%	40.0%	43.4%	109%	○	45.0%
		基準年度比	2019年	310.1%	336.4%	—	○	348.8%

環境経営計画の取組結果とその評価

表組のマーク：◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

CO₂



電力による
二酸化炭素削減

目標比
全館 (ATC ホール除く) **99%**

再生可能エネルギーを 3% 導入

新規入居区画の夜間工事やテナント入居率アップなどにより、単月では目標を上回る月がありました。照明の LED 化やファンコイルユニットの更新などの効果により目標達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標 5,513,563 kg-CO ₂ ▶ 実績 5,441,237 kg-CO ₂	○
おもな取り組み計画	達成状況
こまめな電源の ON・OFF	○
空調の適正温度設定を奨励	○
ファンコイルユニット更新工事	◎
新規入居区画は天井照明を LED 化	○
講習会の開催	○

2022 年度予定

2021 年度から導入した再生可能エネルギーの比率を 3% から 8% にアップさせます。また、専有部の LED 化工事も予定しており、あわせて共用部照明の点灯箇所や大型設備の運転時間についても見直します。

ビルマネジメント部
村上 香苗



目標比
ATC ホール **77%**

コロナ禍の稼働率減少により目標達成

今年度もコロナ禍で、ATC ホール稼働率が 51% となったことが大きく影響し、電力使用量は減少して目標達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標 114,650 kg-CO ₂ ▶ 実績 88,428 kg-CO ₂	○
おもな取り組み計画	達成状況
協力会社への節電の要請 (ポスター掲出)	○

2022 年度予定

2022 年夏のホール利用で、カーボンニュートラルを目指してグリーン電力証書を購入し使用電力の一部を相殺する予定です



熱供給による
二酸化炭素削減

目標比
全館 (ATC ホール除く) **101%***

平年に比べ冬場の気温低下が影響

冬場の気温低下の影響に加え、コロナ禍により換気を強化したことにより、目標を上回る月が続いたため目標未達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標 2,901,962 kg-CO ₂ ▶ 実績 2,932,046 kg-CO ₂	×
おもな取り組み計画	達成状況
空調の適正温度設定	○
ファンコイルユニット更新工事の実施	◎
適切な空調運転 (デマンドコントロール)	○

2022 年度予定

ファンコイルユニットの更新工事 (5 年計画の最終年度) により、熱効率の向上を図ります。

目標比
ATC ホール **75%**

ゴールデンウィークのイベント一部中止により目標達成

冬場の気温低下の影響などにより目標を上回る月が続きましたが、4 月、5 月のイベント開催が 0 件とコロナ禍の影響を大きく受け、目標達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標 92,293 kg-CO ₂ ▶ 実績 69,016 kg-CO ₂	○
おもな取り組み計画	達成状況
利用者へ空調の適正温度の呼びかけ	○
協力会社への節電の要請	○

2022 年度予定

ホールの熱使用量は、利用時間や来場者数、イベント内容に大きく影響を受けますが、ビル設備管理会社による空調運転がより効率的に行えるよう改善を図ります。

廃棄物



一般廃棄物の削減

目標比
全館 **102%***

長年倉庫に眠る書類等の大量廃棄により未達成

ごみの分別が進み、一般廃棄物は順調に削減できていましたが、倉庫需要の増加に対応するため、長年倉庫スペースにストックしていた書類等を大量廃棄したこと、今期の目標設定値 (目標 77%・実績 79%) が高かったことなどにより目標未達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標 545,780 kg ▶ 実績 558,140 kg	×
おもな取り組み計画	達成状況
細かな分別の徹底	○
不要な DM を断る	△
ATC 事務所のごみの量の削減	○
分別の徹底による再資源化の推進 (社内・テナントへの周知)	○
種類別排出量の把握	○



長年の残置物を大量に廃棄しレンタルスペースを確保しました。



産業廃棄物の削減

目標比
全館 (ATC ホール除く) **139%***

残置物の一斉処分により未達も、レンタル面積が拡大

テナント様のご協力で、産業廃棄物は大幅に削減できましたが、レンタル面積を増やすため、2021 年度に長年の残置物を大量廃棄したことで、目標未達成となりました。一方で、新たな産業廃棄物処理業者と契約したことにより、廃棄物排出量がより正確に把握できるようになり、リサイクル率も向上し、費用の削減もできました。

数値目標と実績	達成状況
目標 171,481 kg ▶ 実績 238,640 kg	×
おもな取り組み計画	達成状況
テナントの産廃は各自で適正処分を要請	○
種類別排出量の把握	○

目標比
ATC ホール **14%**

分別によりイベント産廃の一部をリサイクルに回し大幅削減

産業廃棄物を個別に処理するイベントが減少したことや、主催者が分別しやすい仕組みをつくり、リサイクルを推進することで、大幅に削減することができました。

数値目標と実績	達成状況
目標 26,231 kg ▶ 実績 3,760 kg	○
おもな取り組み計画	達成状況
産廃処理と分別についての資料作成	○

FOCUS → ホール事業部の取組み

イベントでのごみ分別の仕組みを作り、リサイクルを推進



イベントで発生するごみの量を、見える化することで、環境負荷を減らすことができるとしています。今後は、ホール利用者様と一緒にごみを削減できるような取り組みを進められるように努めていきます。

ホール事業部
前川 真毅



環境経営計画の取組結果とその評価

表組のマーク：◎よくできた ○まあまあできた
△あまりできなかった ×全くできなかった

廃棄物

NEW GOAL

リサイクルの推進 (リサイクル率)

全館 目標比 **89%***

2021年度よりリサイクル率アップを目標に追加

2021年度より追加したリサイクル率は、テナント様のご協力で2月までの11ヶ月間は順調に推移していましたが、最終月の3月に長年の残置物を大量に廃棄したため、目標は未達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標 44.0% ▶ 実績 39.0%	×

水道水

水道水の削減

全館 目標比 **81%***

コロナ禍での来場者減少により使用量減少

新型コロナウイルス感染症の影響が残り来場者が少なかった（基準年度比70%）影響や、超節水型トイレの導入などにより、水道水の使用が減少し目標達成となりました。

数値目標と実績	達成状況
目標 97,073m ³ ▶ 実績 78,459m ³	○

廃棄物

コピー用紙の削減

ATC 事務所 目標比 **92%***

ペーパーレス化、稟議の電子化が浸透

セミナーのオンライン化の浸透、稟議の電子化導入、会議資料のペーパーレス化などにより目標達成することができました。今後はセミナー配布資料のペーパーレス化なども検討していきます。

数値目標と実績	達成状況
目標 510,704枚 ▶ 実績 468,127枚	○

おもな取り組み計画	達成状況
コピーの両面、集約などの機能の活用	○
会議のペーパーレス化への取組	○
業務の効率化、電子化への取組	○

グリーン調達・購入

グリーン調達・グリーン購入の推進

ATC 事務所 目標比 **109%***

総務部を中心にグリーン購入商品の選択比率をアップ

総務部を中心にグリーン購入商品を意識して購入することで達成に貢献しました。グリーン調達については予定通り更新工事を行っています。

数値目標と実績	達成状況
目標 40.0% ▶ 実績 43.4%	○

おもな取り組み計画	達成状況
事務用品はできるだけグリーン購入法適合商品を選択	○
PELP（廃コピー用紙のアップサイクル）の拡大	△
コピー用紙を一部リサイクルペーパーに変更	○

FOCUS →



本来廃棄される茶殻をリサイクルした封筒は、紙資源の使用量を削減することで環境保全に貢献でき、ATCのSDGs活動のPRにもなると思い採用しました。また、環境経営の観点から長時間の同じ姿勢による体への悪影響を配慮し、事務所の椅子の入れ替えを行いました。持続可能なバイオプラスチックを使用しているところがポイントです。



総務部 森 千晶

緊急事態対応の試行・訓練



南海トラフ地震を想定し全館で訓練を実施

発生する可能性が高まってきているといわれる南海トラフ巨大地震。ATCでは、来場者を含めた人々の生命を守るために、南海トラフ地震を想定した訓練を関係機関と協力して定期的に行っています。状況把握から通報、避難誘導、負傷者の搬送など、緊急事態を想定して訓練を行っています。



環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反、訴訟の有無

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物(廃プラ、廃ガラス、廃油等)	省エネ法	エネルギー使用、輸送車両
大阪市廃棄物の減量推進及び適正処理並びに生活環境の清潔保持に関する条例		地球温暖化対策推進法	エネルギー使用量1500KL以上
騒音規制法	空圧機、送風機、空調機	振動規制法	空気圧縮機、送風機
大阪府生活環境の保全等に関する条例	井戸(揚水機)	グリーン購入法	購入品・調達品、購入先・外注先
ビル管法	ATCビル	消防法(危険物)	危険物の保管
		顧客要求事項	品質管理

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていました。なお、違反、訴訟等も過去3年間ありませんでした。

SDGs 社員研修

NEW ACTION

年10回の「エコプラザカレッジ」受講を必須に

今年度から社員研修としておおさかATCグリーンエコプラザが主催する「エコプラザカレッジ 2021」の受講をスタートさせました。計10回のセミナーでこれからのSDGsについて学びを深めました。セミナー受講は、SDGsラリーの点数にも反映され、受講意識を高めることに役立てています。

社員・スタッフに「eco検定」取得を推奨

今年度1名合格
合計7名に!

ビジネスと社会課題の解決の両立を目指すため、多くの企業で、東京商工会議所主催の環境に関する検定試験「eco検定」が導入されています。おおさかATCグリーンエコプラザでは、受験対策セミナーも実施しており、ATC社員にも取得を推奨しています。

FOCUS →

「エコプラザカレッジ 2021」を受講した社員の感想

・バックキャストで先延ばしグセを直す。まず社会を見て自分は何をすべきか考える。無関心がダメ、認め合うことが大事。ということに肝に銘じようと思いました。
・2025年日本国際博覧会協会は「EXPO 2025 グリーンビジョン」を公表しましたが、このニュースを見た後、私の中に、何となく引っ掛かっていたことが何なのか、1月の研修を受けて少しわかった気がしました。「取り組むのは万博会場の中だけでいいのか??」という疑問です。



環境・社会活動について

ATCでは環境経営方針に基づいて、環境経営事務局を中心に3つの分科会ごとに社内活動や対外活動を行い、SDGsを加速させる取り組みを推進しています。



エコアクション 21 関連社内会議



環境経営委員会

5月13日・7月8日・9月9日・11月25日・1月27日…
数値や取組みの報告を行う

環境経営事務局会議

毎月第3金曜日…3つの分科会に関連する各部の
取組みについて数値や取組みの報告と意見交換を行う

環境経営事務局

それぞれの分科会の調整や横断的な取り組みを推進し、環境経営方針に基づいた社内外の活動の活性化を目的に活動しています。

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

1 SDGs ラリー

おおさかATC グリーンエコプラザの出展社でもある大栄環境株式会社様が取り組まれている「社員がSDGsを自分ごとに」するための企画「2500人のSDGs」[環境ラリー]。「節水する」「レジ袋を断る」など気軽に取り組める環境活動をSDGsの各ゴールと関連付けてポイント化し、社員それぞれが毎月自己評価し申告する仕組みです。ATCでも「SDGsラリー」として1月よりスタートしました。



ATC版 2021年「SDGsラリー」から活動内容を一部掲載

	食品ロスをなくす	食べ残しをしなかったら1点 または消費期限の近いものから意識して買えば1点
	SDGsに関するセミナーに参加	SDGs研修など、エコプラザのセミナーに参加したら1点 (オンライン可)
	ジェンダーに関する記事を読む	新聞・ネット、媒体は問いません まず知ることから始めよう!記事を読めば1点
	節水をする	意識して水を出しっぱなしに しなかったら1点 またはお風呂の水を翌日の洗濯に 使ったら1点



FOCUS

“2500人のSDGs”[環境ラリー]に取り組まれている
大栄環境株式会社
事業本部 環境課 前田様

弊社は廃棄物処理・資源循環事業を通じて「より良い社会づくり」に貢献しようとしていますが、そこで働く従業員それぞれも「一人の市民」として「できることをやる」ことも大切です。それぞれの項目はとても些細なものですが、そうした日々の行動がサステナブルな社会づくりに繋がるのだという実感を感じていただければと取り組んでいます。

CO₂分科会

CO₂分科会は、二酸化炭素排出抑制のための電力削減や設備の更新、再生可能エネルギーの導入の検討などが主な目的です。

(各取り組みに主なSDGs番号を紐づけています)

CO₂ 1 2022年度再生可能エネルギー比率3%→8%に

省電力化が進んできたため、契約電力の見直しを実施しました。これにあわせ2022年度契約より再エネ比率を3%から8%に引き上げました。



CO₂ 3 トイレのリニューアル

2019年度から順次、老朽化したトイレのリニューアルをすすめており、今年度はO's棟13ヶ所を改修しました。超節水型トイレの導入、センサー付きLED照明の採用、オストメイトの設置などにより、省エネとお客様サービスの向上を目指しています。



CO₂ 2 「令和3年度おおさか気候変動対策賞」特別賞を受賞

大阪府温暖化の防止等に関する条例に基づき届出された実績報告書のうち、計画期間(2018年度~2020年度)の最終年度(2020年度)の評価結果が最良である事業者について表彰されるものです。ATCは2017年より、CO₂排出量を19.9%削減しました。



NEWS SDGs TOPICS

開催するイベントにも、「環境の視点」を取り入れています

2022年の夏、エネルギー問題と生物多様性をテーマにした2つのイベントの開催が決定しています。ATCから次代を担う子どもたちにメッセージをお届けします。

テオ・ヤンセン展

2022.7.9 sat → 9.25 sun

風で動く巨大な人工生命体「ストランドビースト」の制作で、現代のレオナルド・ダ・ヴィンチと称される、テオ・ヤンセンの大規模個展



ATC夏の大规模展覧会で「初」の「グリーン電力証書」システムを導入

カーボンオフセットを目指し、展覧会で使用するエネルギーの一部に「グリーン電力証書」システムを導入します。「エネルギーの地産地消」という新しい地域貢献のカタチを目指し、大阪府内の再生可能エネルギーを活用します。



グリーン電力証書のロゴマーク

わけあって絶滅しました。展

2022.7.22 fri → 9.4 sun

ベストセラー「わけあって絶滅しました。」シリーズを骨格標本やロボット、VRシアター等で体験できる展覧会



わけあって絶滅しました® ©サトウマサノ

環境経営方針に基づく取組み

CO₂分科会

CO₂分科会は、二酸化炭素排出抑制のための電力削減や設備の更新、再生可能エネルギー導入の検討などが主な目的です。

(各取組みに主なSDGs番号を紐づけています)

CO₂ 4 茶殻を有効活用した封筒を導入

(株)伊藤園様の「茶殻リサイクルシステム」より誕生した、茶殻を有効活用した封筒を導入。木材パルプ使用量の削減や未利用材(茶殻)の有効活用により、環境負荷低減に貢献しました。



CO₂ 6 稟議を電子化

DX推進とコロナ禍におけるテレワーク対応のため稟議の電子化を実現しました。決裁までがスムーズで意思決定が迅速化し、紙の削減にも繋がりました。



CO₂ 7 ファンコイルユニット更新第4期完了

5年計画で進めている館内のファンコイルユニット更新の4期が完了し、メーカーの試算では電力使用量が38%以上削減されます。



CO₂ 5 コピー用紙をグリーン購入対象商品に変更

最も使用頻度の多いA4・A3のコピー用紙をグリーン購入対象商品に変更し、グリーン購入率アップを図りました。



廃棄物分科会

廃棄物分科会は、分別を徹底し、ごみの計量をすすめ、ごみの見える化を推進。廃棄物の削減、リサイクルの推進に取り組んでいます。

(各取組みに主なSDGs番号を紐づけています)

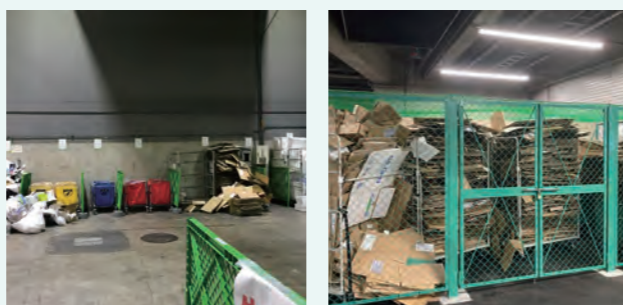
廃棄物 1 ごみの分別方法を社内およびテナント様に周知

ごみの分別方法を社内およびテナント様にわかりやすく周知し、廃棄物減量と再資源化を啓発しました。



廃棄物 2 ATCホールで廃棄物の分別推進

ATCホールの飲食系やファッション系展示会等において廃棄物の分別を推進しました。主催者の協力を得て、ダンボール、ビン、缶等を分別しリサイクルにまわすことで産業廃棄物が減量化されました。



廃棄物 3 ATCホール用分別ステーションと秤の導入

ホール主催者が廃棄物を分別しやすくするため分別ステーションを設置しました。あわせて秤を導入することで、重さを計測することが可能になり、主催者様への周知がしやすくなりました。

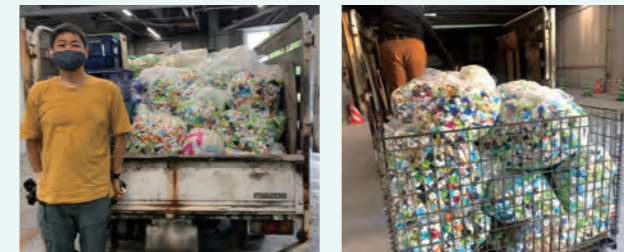


廃棄物 4 ペットボトルキャップを分別・リサイクルし寄付

ATC館内で集められたペットボトルキャップをリサイクル募金推進連絡会に寄付。今年度はリサイクル資源2,150円分でした。

<リサイクル募金推進連絡会とは>

リサイクルできる資源(てんぷら油、ペットボトルキャップ等)を分別し再資源化して募金にし、事件事故に巻き込まれた子どもたち等を支援する活動。



廃棄物 5 ごみ減量優良建築物

大阪市環境局より、「優良なごみ減量・適正処理を実施している」大規模建築物であると認定されました。次は、市長表彰を目指します。

廃棄物 6 2022年度よりマニフェストの電子化が決定

電子マニフェストの導入により事務処理の効率化を図るとともにデータの透明性を確保。法令の遵守を徹底することに繋がります。

廃棄物 7 産業廃棄物の分別を推進

当館に入居されている「コーユーレンタリース株式会社」様(※)に、オープン以来、館内に蓄積していた不要物品や産業廃棄物の処理を委託しました。ステンレスや金属などは有価物として買い取ってもらうことで再資源化をすすめ、スタッピングチェアなどはリユース等にまわすことで、適正な処理に加え、処理費も削減。廃棄物のあった場所をレンタルスペースとして有効に活用できるようになり、新たな収益確保につながりました。



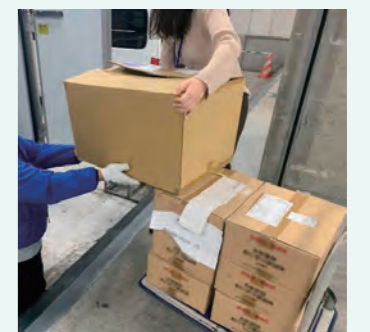
不要物品を素材ごとに分別し運び出している様子



※コーユーレンタリース株式会社：2022年3月からITM棟4階に、リユースショップ「リスタ」をオープンしました。廃棄物の「買取、寄付・寄贈、産廃処理のワンストップ提案」をしています。

廃棄物 8 期限切れが近づいた社員用備蓄食品をフードバンクに寄付

期限切れが近づいた社員用備蓄食品をNPO法人ふーどばんく大阪に寄付。レトルトパウチおにぎり140個、缶入りパン68缶。ふーどばんく大阪を通じて、福祉団体等から食品を必要とする方や子ども食堂などへ届けられます。



環境経営方針に基づく取組み

SDGs分科会

SDGs分科会は、今年度、万博分科会と統合しました。Society5.0とSDGs達成への貢献を目指す大阪・関西万博を成長ドライバーにできるよう取り組んでいます。

(各取組みに主なSDGs番号を紐づけています)

SDGsの取組み

SDGs 1 サキシマベイエリア クリーンアップ大作戦 (春・秋の海ごみゼロウィーク)

日本財団と環境省が共同で主催する「海ごみゼロウィーク」では、ATCを含む「コスモスクエア開発協議会」と「サキシマmeets!おそうじ委員会」が「サキシマベイエリアクリーンアップ大作戦」と題して春と秋に開催しました。ATC従業員を始め入居テナント様、周辺企業様など100名以上の皆様にご参加いただきました。



6月7日と9月22日に開催した清掃活動では、合計200袋のごみを回収しました。

SDGs 2 サキシマmeets おそうじ委員会発足

2021年4月から地域の企業が集まって月1回のペースで咲洲地域のごみひろいを実施。2022年2月からは月に1回、草刈りも開始。2022年3月までに合計19社から有志が参加し、美観の輪を広げる活動を行っています。



SDGs 3 中小企業が取り組む ESG/SDGsセミナー

環境カウンセラーの飯田氏をお迎えし、9月2日に中小企業にとってのESG/SDGsについて講演。おおさかATCグリーンエコプラザ出展企業の山陽製紙様のプレゼンにあわせて、ATCも環境経営レポートを用いて活動を発表しました。

SDGs 4 多様な人材活躍推進

障がい者雇用率制度に則り、雇用を実現。あわせて社員にチャレンジ研修を実施し理解を深めました。

SDGs 5 夏のイベント「ティラノ サウルス展」でPRブースを設置

ATCホールで夏休み期間中開催され12万8千人が来場した「ティラノサウルス展」でPRブースを設置し、エコアクション21認証取得やエイジレスセンターをPRしました。



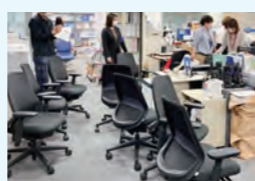
SDGs 6 商業ゾーン店長会で SDGs勉強会を実施

ATCのレストラン、ショップの店長向けSDGs勉強会を実施。熱心に質問される店長さんもうらっしゃいました。



SDGs 7 健康経営の観点から、社員の 事務用椅子をリニューアル

多くの社員が25年以上前の事務用椅子を使用していたため、健康経営の観点からリニューアルしました。すべての椅子に腰痛予防のためのランバーサポートを設置したことで、「座り方から姿勢も改善されたように気がします」との意見も。古い椅子はメーカーに引き取ってもらい、適切にリユース・リサイクルされます。



SDGs 8 ATC 総務まつり

オフィス事業部が中心となり社員のコロナとカラダの健康を維持・増進するコンテンツをATC館内や咲洲地域で働く企業に紹介する「総務まつり」を開催。ATCテナント様13社、咲洲企業3社他、計18社の参加がありました。



SDGs 9 「SDGsビジネス フォーラムinATC」の開催

おおさかATCグリーンエコプラザでは、SDGs関連商品を取り扱っている企業の目標達成につながる商品・技術・サービスの発表や、セミナー参加者から提案を受けたい内容について発表し、参加者とのマッチングの場を提供した「SDGsビジネスフォーラムinATC」を開催しました。



SDGs 10 デジタルサイネージを 活用した情報発信

ATCビルITM棟2階のコンコースに、公共展示場に関する情報を中心に発信する大型のデジタルサイネージを設置しました。ATC来館者の皆さまに、様々な情報を発信します。



(2022年4月1日開始)



大阪・関西万博に向けた取組み

SDGs 11 大阪・関西万博 PRブースの設置



ITM棟11階、おおさかATCグリーンエコプラザに2025年に開催予定のSDGsの達成を目的としたテーマとした大阪・関西万博のPRのために、(公社)2025日本国際博覧会協会様にご協力いただき、大阪・関西万博のPRブースを設置しました。



万博のグッズなども展示しています。

環境経営方針に基づく取組み

SDGs分科会

SDGs分科会は、今年度、万博分科会と統合しました。Society5.0とSDGs達成への貢献を目指す大阪・関西万博を成長ドライバーにできるよう取り組んでいます。

(各取組みに主なSDGs番号を紐づけています)

大阪・関西万博に向けた取組み

SDGs 12 実証実験

ATCIは2017年から大阪市と協定を結び、商業施設・オフィス・展示施設・バックヤードなどの空間を使ったIoTやロボットテクノロジーなど先端技術に関連する実証実験フィールドを提供。開発事業者を支援し、産業振興に取り組んでいます。

今年度は、ご入居企業様をはじめとした実証実験に加え、ご入居企業様同士やイベントとのコラボレーションなど、10件以上の実証実験を実施しました。

今後も「新しいサービスが生まれ続ける街」、「IoT・ロボットテクノロジー関連ビジネスの創出拠点」として、取り組んでいきます。



SDGs 13 新規事業推進プロジェクトの導入

万博・IRを契機とした部門横断による複合施設の強みを発揮する手段として「新規事業推進プロジェクト」制度を導入し、組織の活性化にも繋がります。



大阪・関西万博の機運醸成をテーマとした、万博開催 1000 日前イベントをホール事業部、公共サービス事業部、総務部、オフィス事業部に所属する 4 名のメンバーで企画しています。オフィス入居者との連携、公共サービス事業部管轄場所でのセミナー、ホール事業部のノウハウを活かした運営等、部門を横断することで相乗効果を発揮したプロジェクトを推進しています。



SDGs 14 大阪・咲洲から万博につながる100プロジェクト

2025年に開催される大阪・関西万博を契機として、様々な企業団体がATCIと協業で100件のプロジェクトを創出する「咲洲から万博に繋げる100プロジェクト」。2021年に(公社)2025年日本国際博覧会協会が主催する「TEAM EXPO 2025」プログラム/共創パートナーに登録しました。

また、社会課題の解決を目指すテクノロジー関連を中心に、5Gやヘルスケア、遠隔操作機器など、様々な企業団体が約20件のプロジェクトを実現。万博で提供されるサービスや製品の創出を目指し、また万博後のイノベーション拠点としても活動を促進していきます。



テクノロジーを活用し、歯科界にイノベーションを



5G活用による工場内の4Kカメラ映像配信サービス事業化を目指す



MIWATASU(ミワタス)を活用して、デジタルサイネージ広告効果の見える化に挑戦!



ロボットとAI技術による世界初の「ロボット社員食堂&カフェシステム」



移動ソリューション「ROBOLUTION」実用化プロジェクト

SDGs 15 サキシマmeets!

咲洲で働く人・団体・企業がフラットに情報発信・共有・交流できる場「サキシマmeets!」を新たに立ち上げました。2か月に1度のペースで定例会を開催し、顔の見える関係づくりから、メンバー間の連携や共創が促進される事により、地域の活性化にも繋がりたいと考えています。また、サキシマmeets!では参加企業の企業訪問を始め様々な分科会が誕生しています。



「サキシマmeets!」は、入居企業様限定の共用スペース「PORT」で開催しています。

SDGs 16 ATC INNOVATION WEEK

SDGs各課題へ先端技術を用いた解決策を体感できるイベント。「大阪・関西万博初、空飛ぶクルマの社会実装への挑戦」と題したセミナーや、「5G×LAB OSAKA」による5G技術を使用したロボットの出張展示等を実施しました。ビジネスデーはATCホールで行われた大阪勤業展2021内で開催し、大学生、専門学校生によるSDGsアート展も好評でした。



SDGs 17 咲洲子どもEXPO

未来を担う子どもたちの想像力をはぐくみ、チャレンジを応援する「咲洲子どもEXPO」。このプロジェクトに共感する人たちとともに、文化・環境・教育・ロボット・医療・スポーツ等の様々な分野の“人・もの・知恵・技術”を結集。それらをイベントや、ワークショップにして「親子で遊びながら、学び、楽しめる」場を提供。今年度は「子ども達の未来に役立つこと」をテーマに35件のプログラムを集めました。



2021年11月13日(土)・14日(日)に開催しました。

環境経営方針に基づく取組み

SDGs分科会

SDGs分科会は、今年度、万博分科会と統合しました。Society5.0とSDGs達成への貢献を目指す大阪・関西万博を成長ドライバーにできるよう取り組んでいます。

(各取組みに主なSDGs番号を紐づけています)

常設展示場等の取組み

SDGs
18

おおさかATCグリーンエコプラザ 〈日本最大級の環境ビジネス常設展示場〉

「すまい・省エネゾーン」等リニューアルの実施

様々な種類の断熱材や省エネ建材等を展示している「すまい・省エネゾーン」や、ビジネスを軸としたSDGsへのアプローチを考える企業ゾーンである「SDGsビジネス研究会ゾーン」をリニューアルしました。



面積4,500㎡ セミナー件数72件(2022年3月末)

出展社数
105社



SDGs
19

ATCエイジレスセンター 〈豊かな高齢社会をめざす介護と福祉の展示場〉

介護ロボット相談窓口開設

厚生労働省の「介護ロボットの開発・実証・普及のプラットフォーム事業」の一環として、介護ロボットに関する介護現場・開発企業双方から相談を受け付け、介護ロボットの開発・普及を目的とした「介護ロボット相談窓口」を開設しました。

また、介護施設のメリットとなるような介護ロボットの導入に関するセミナー等も開催しました。



面積5,000㎡ セミナー件数36件(2022年3月末)

出展社数
85社



バリアフリー住宅を大規模リニューアル

永大産業(株)様の協力で、住宅や介護施設に適した新製品を取りそろえた「バリアフリー住宅コーナー」を大規模リニューアルしました。様々なモデル展示をご覧いただくことができ、バリアフリー住宅づくりのヒントとなるようにご紹介していきます。



SDGs
20

ATC輸入住宅促進センター (IHPC)

〈世界の住宅建材・部材・設備の総合展示場〉



面積3,200㎡ セミナー件数6件(2022年3月末)

出展社数
111社

WOOD MEETSゾーン 拡張と特別展示会開催

地産地消の建築建材の展示を充実させるために、国内の地域産材ショールーム「WOOD MEETS」を拡張し展示内容を充実。また、一般の消費者に地産地消の建築建材や木製品をPRするため、ITM棟2階で特別展示会を開催しました。



キッチンゾーンリニューアル

エンドユーザー・プロユーザーを問わず高まるキッチンへの期待と需要にお応えするため、出展企業様のご協力を得て、キッチンゾーンを大幅リニューアル。キッチンを使う人それぞれ使用目的やデザインの好みがあり、規格品では実現できないこだわりのキッチンを具現化できる場所としてリスタートします。



IHPCオリジナルYouTube チャンネルの開設

ATC輸入住宅促進センターの出展企業様や出展商品の魅力を、動画により発信する「IHPCオリジナルYouTubeチャンネル」を開設しました。



SDGs
21

大阪デザイン振興プラザ

〈デザイナー・クリエイターのための独立・創業支援施設〉

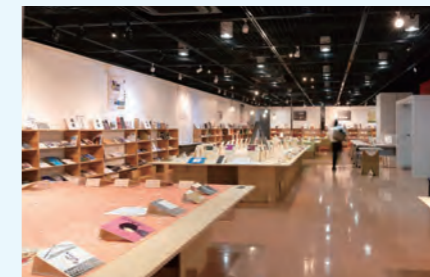


面積4,500㎡ セミナー件数13件(2022年3月末)

入所企業数
34社

わたしのマチオモイ帖 10年をありがとう展の開催

日本全国のクリエイターが、自分にとって大切な町、ふるさとの町などで育まれた「わたしだけの思い」を小冊子や映像、ポストカード作品にして紹介する「わたしのマチオモイ帖 10年をありがとう展」を開催しました。



ODPこどもの森のおしごと博の開催

独立系クリエイターの自己発信支援として、親子向けイベント「ODPこどもの森のおしごと博」を開催しました。来場者は、クリエイターによるワークショップに参加したり、オリジナルグッズに触れながら、親子でクリエイティブな仕事を体験しました。



SDGs 取り組み一覧

2021年度の各分科会の取り組みを主なSDGsのゴールに紐づけています。それらを一覧にすると、取り組んでいるゴール、着手できていないところがわかります。次年度以降、引き続き重点的に取り組む項目のほか、まだ○の少ない項目の社会課題への取り組みにも活かしていきます。

項目	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	
※環境経営事務局 P.16																		
※ SDGs ラリー	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
CO2分科会	2022年度再生可能エネルギー比率3%→8%に						○											
	「令和3年度おおさか気候変動対策賞」特別賞を受賞												○					
	トイレのリニューアル					○												
	茶殻を有効活用した封筒を導入											○						
P.17	コピー用紙をグリーン購入対象商品に変更											○						
	稟議を電子化											○						
廃棄物分科会	ファンコイルユニット更新第4期完了												○					
	ごみの分別方法を社内およびテナント様に周知												○					
	ATC ホールで廃棄物の分別推進												○					
	ATCホール用分別ステーションと秤の導入												○					
	ペットボトルキャップの分別・リサイクルし寄付	○																
	ごみ減量優良建築物												○					
	P.18	2022年度よりマニフェストの電子化が決定											○					
		産業廃棄物の分別を推進											○					
		期限切れが近づいた社員用備蓄食品をフードバンクに寄付	○															
	SDGs分科会	サキシマベイエリアグリーンアップ大作戦											○					○
サキシマ meets おそうじ委員会発足												○					○	
中小企業が取り組む ESG/SDGs セミナー																	○	
多様な人材活躍推進								○										
夏のイベント「ティラノサウルス展」でPRブースを設置																	○	
商業ゾーンの店長会で SDGs 勉強会を実施																	○	
健康経営の観点から社員の事務用椅子をリニューアル				○														
ATC 総務まつり				○														
[SDGsビジネスフォーラムin ATC]の開催																		○
大阪・関西万博 PR ブースの設置																		○
実証実験												○						
新規事業推進プロジェクトの導入									○									
P.20	大阪・咲洲から万博につなげる100プロジェクト								○								○	
	サキシマ meets !																○	
	ATC INNOVATION WEEK									○				○			○	
	咲洲こども EXPO				○												○	
	おおさか ATC グリーンエコプラザ				○					○		○	○				○	
	ATC エイジレスセンター				○	○						○					○	
	ATC 輸入住宅促進センター				○							○	○			○	○	
	大阪デザイン振興プラザ				○			○				○					○	

代表者による全体の評価と見直し・指示

項目	目標値達成状況	目標値達成状況(原単位)	2021年度	
電力による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館	○	夜間工事実施などで増加要因はあったがLED、空調設備更新で原単位とも目標達成。	
	ATCホール	○	×	年度当初に稼働日数が少なくなった影響などにより目標達成。コロナ対策とカビ対策で換気を強化したため原単位は未達成。
熱供給による二酸化炭素削減	ATCホール除く全館	×	×	冬場の気温低下等により原単位とも目標未達成。
	ATCホール	○	○	年度当初に稼働日数が少なくなった影響などにより目標達成。冬場の気温低下の影響はあったが原単位も達成。
一般廃棄物の削減(全館)	×	-	テナント様の協力で削減が進んだが、2021年度は新たな賃貸スペース確保のため倉庫スペース等にあった過去の書類等を大量廃棄したことにより目標未達成。	
産業廃棄物の削減	ATCホール除く全館	×	-	テナント様の協力で削減が進んだが、2021年度は新たな賃貸スペース確保のため長年蓄積された大量の廃棄物処理を行ったことで目標未達成。
	ATCホール	○	-	廃棄物の発生するイベント数減と分別の推進により目標達成。
リサイクルの推進(リサイクル率)	×	-	年度末に大量の産業廃棄物処理を行ったことで目標未達成。	
コピー用紙削減	○	-	セミナーのオンライン化の浸透、決裁の電子化導入、会議資料のペーパーレス化などにより目標達成。	
水道水の削減	○	-	超節水型トイレ更新とコロナによる来館者減により目標達成。	
グリーン調達・グリーン購入の推進	○	-	物品購入においてグリーン購入法適合商品を優先的に選択し目標達成。	
SDGsの取組みと情報発信	-	-	EA21 認証取得記念セミナーを開催。中期経営計画において環境経営を推進していくことをWEB上で発信。全社員参加でSDGsラリーをスタート。	
万博を契機とした産業振興	-	-	オンラインセミナー開催などにより産業振興を行った。エコプラザ内に万博協会のPRブースを設置等。	
社会の要請に応じた企業価値向上	-	-	環境経営レポートをステイクホルダーに配布。	

当社では、2022年度から3年間の中期経営計画を3月に発表しました。大阪・関西万博が開幕するまでに当社が取り組むべき事項を重点課題として掲げております。そこには従来からの継続事項に加え、「未来社会に向けた持続可能な経営(の実現)」という課題を新たに盛り込みました。企業は何よりも継続性を確保することが重要ですが、財務的に成果を出すだけでは将来にわたり持続可能性を担保することは難しい時代になりつつあります。

この持続可能な経営を実現するための柱の一つが「環境経営の推進」であります。当社では一昨年から「エコアクション21」の指針に沿った活動をスタートさせました。2年目となる2021年度は、当社単独で進めるだけではいずれ限界に突き当たるとの思いから、テナント様やホール利用者様の力をお借りすることにも留意

しました。具体的な取り組みとして、老朽化した什器・備品の処分にあたり、物品のリユースや再資源化に詳しいテナント様の手助けを得て産業廃棄物の分別を進めることができました。また、ATCホールに分別ステーションを新設し併せて秤を設置することで、ホール催事主催者様が廃棄物を分別し計測することが出来るようになりました。

今後、新型コロナウイルス感染対策と経済活動の両立が求められるなか、当社事業にかかる二酸化炭素や廃棄物の排出量もコロナ禍からの回復に応じて増加傾向を示すことになると考えられます。引き続き、テナント様、取引先様等のご協力もいただくことにより、当社が存在することによる環境への負荷を減らしていけるように努力したいと思っております。

代表取締役社長 木村 繁

編集後記



環境経営事務局 安田 夏実

「測定なくして改善なし。」初年度はまず実態を知ることからはじめました。振り返れば、2年目となる2021年度は、社員それぞれが「環境負荷軽減」に地道に取り組むにつれ、自社の事業に「環境経営」の視点を取り入れようと試みた一年でした。また、当社の環境経営事務局は全部署から若手を中心に担当者を選任していることから、タコつぼと言われる縦割りの組織に横串をさすことができてきたのではないかと思います。

来る2022年度は、海の見える「シーサイドテラス」、夏休みの二大イベント「テオ・ヤンセン展」[わけあって絶滅しました。展]など、「未来志向」のATCを感じていただける機会を多数ご用意しています。まだまだ微力ではありますが、新しい中期経営計画のもと、2025年の大阪・関西万博の開催を契機に、ますます機運が高まる大阪のSDGs推進の一端を担えるよう、取り組んでいきたいと考えています。



公共サービス事業部 北澤 弘行

国内外において、脱炭素や資源循環、生物多様性等の環境に関する取り組みをはじめ、SDGsやESG経営に対する注目が一層強まっています。当社でもこれらの動向を視野に入れながら、エコアクション21を活かして環境経営の取り組みを進めていければと思います。



表紙のデザイン

カラーボールは 2021 年度に ATC が取り組んだ
SDGs のゴールを表しており
大きさは取り組みのゴールマークの数に
比例しています。



アジア太平洋トレードセンター株式会社

大阪府大阪市住之江区南港北 2 丁目 1 番 10 号
TEL. 06-6615-5000

<https://www.atc-co.com>

